

平成22年度 第12回 (3月) 理事会議事録

- 日 時 平成23年3月10日(木) 午後6時30分～7時46分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、
荒木、井戸田、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、栗本監事、
事務(岩崎、出口)
- 欠席者 田畑、出野、山中監事
- 議 長 今井

【 討議内容 】

I. 行動報告 (2月分)

- 2月4日 日臨技連盟責任者会議
運天
- 8日 学術部会
高田、宮野、山西
- 10日 理事会
今井、運天、竹浦、吉本、高田、清水、
荒木、田畑、井戸田、山田、出野、
宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、
栗本監事
- 14日 事務職員選考面接
今井、運天
- 14日 臨床化学検査部門研修会
山西
- 15日 渉外部会
清水
- 15日 技師長会の内合せ
山西
- 16日 総務・会計部会
運天、吉本、荒木、山田、酒井、杉山
- 17日 情報組織部会
運天、井戸田、山西、杉山
- 17日 地区事業部会
田畑、出野、栗本
- 18日 中央支部交流会
運天、田畑、栗本
- 19日 内視鏡公開フォーラム
今井
- 19日 技師長会
運天、井戸田、酒井、荒木
- 20日 近臨技一般検査研修会
山西
- 20日 兵庫臨床検査技師会法人化30周年式典・
祝賀会
今井
- 23日 府民公開講座打ち合わせ会議
今井
- 23日 常務理事会
今井、運天、荒木、高田
- 24日 大阪府事業指導課と面談
今井
- 26日 献血推進活動
今井、清水、山西
- 26日 大臨技臨床検査データ標準化推進事業
報告会
山西、杉山
- 26日 精度管理事業報告会
今井
- 27日 糖尿病療養指導士研修会
今井

II. 経過報告

1. 日臨技

- 東広社との「図書発送委託契約」が平成23年3月31日
で契約満了となるのを機に日臨技の経理状況を考え
契約解除し、当会の直接販売発行することとし、この

業務を含め日臨技の業務を補佐する非常勤職員を1名
雇用する。

- 新法人会員証作成のために、「顔写真入りIDカード
発行管理システム (IDMK1200) を購入した。
- 精度保証施設認証制度申請について、基幹施設を対
象としたパイロット施設が154施設、一般施設認証
が213施設、合計367施設の申請があり、そのうち
365施設を承認した。
- 会報JAMTに、今後、日臨技ホームページを日々更新
するので、随時参照してほしい旨の掲載があった。

2. 近臨技

- 2月12日・13日に近畿臨床化学検査研修会が奈良で
開催された。
- 2月20日に近臨技一般検査研修会が奈良で開催され
た。

3. 事務局

- 〈総務部〉
2月16日に部会を開催した。
● 大臨技総会について検討した。
● 大臨技会員証について検討した。作成段階である。
● 賛助会員への対応について検討した。
● 教育施設への対応について検討した。
● 大臨技行事スケジュール管理について検討した。
● 大臨技ニュース2月号を発行した。
● 大臨技ホームページを更新した。
〈会計部〉
2月16日に部会を開催した。
● 1月度収支決算書を作成した。
● 公益事業予算案について検討を行った。
〈渉外部〉
2月15日に部会を開催した。
● 献血推進活動について打合せを行った。
日程：2月26日 10:00～16:30、10:00か
ら難波献血ルームを見学した。
● 子宮がん検診啓発活動の説明を行った。
● 平成22年度事業報告を行った。
● 平成23年度事業計画および渉外部体制について検討
を行った。

4. 事業局

- 〈情報組織部〉
2月17日に部会を開催した。
● 技師長会最終打合せおよび配布テキストの作成準備を
行った。
● 2月19日に第27回技師長会を大臨技事務所にて開催
した。
参加者は37名(一般会員32名、賛助会員5名)で
あった。
〈地区事業部〉
2月17日に部会を開催した。
● 平成23年1月22日(土)施設連絡者会の反省を行っ
た。
参加者は52名であった。
● 来年度事業について話し合った。
〈学術部〉
2月8日に部会を開催した。
● 第4回学術部講演会に関して検討した。

III. 他、報告

1. 事務局報告 (運天副会長)

- 新規事務員として、出口由紀子さんが2月21日に入
職した。

2. 日臨技生涯教育履修登録に伴う体制について

- (吉本常務理事)
● 現在、各都道府県技師会で行っているJAMTISでの

行事登録を、来年度から日臨技が行う旨の通達があったが、現在、日臨技の体制が整っていないため、当分は、現行どおりの対応とする。

- 平成22年度各事業の参加登録は4月15日までに終了すること。

3.公益法人移行の進捗状況（運天副会長）

今後のスケジュールは

- 3月11日にコンサルタントから事業区分案が提示される。
- 4月理事会に事業区分案を提出し、承認を得る予定。
- 5月初旬に申請書類を作成し、大阪府と事前協議をする。
- 10月に大阪府に申請書類を提出する。
- 来年3月に大阪府より答申書類が届く予定。

4.教育施設懇談会について（竹浦副会長）

3月23日(水)19:00から教育施設4校の各担当者と、大臨技の会長・副会長、各部部长、広報担当者が参加し、教育セミナーの打合せ、献血、大臨技会長賞の盾、入学案内等について討議を行う予定である。

5.看護の日について（竹浦副会長）

2月12日(月)に大阪府庁において、看護の日ハートフル実行委員会が開催され、以下のことが決定された。

日 程：5月14日(土)9:30~16:00

場 所：桃谷センター

テーマ：府民をがんから守る（仮称）

大臨技からの要望として、看護の日のポスターに、大臨技からの要請により参加してもらう企業の名称を掲載してもらうように伝えた。

現在、大臨技からの協力依頼した企業は、アロカ㈱、栄研化学㈱で、あと1社交渉中である。

6.その他

- 献血推進活動について

2月26日（土）難波グリーンガーデンと難波献血ルームの2ヶ所で行った受付者数は200名、採血者数は156名であった。

今後の献血活動を、難波グリーンガーデンの献血バスに誘導することにより行うか、または、難波献血ルームへの誘導で行うかは、献血センター担当者と協議して決めて行くこととした。

- 日本細胞検査士会からの共催申請書が承認された。

IV.議題

1.平成22年度第2回定期総会について

（吉本常務理事）

- 理事会に、第1議長候補者の山本氏と第2議長候補者の山内氏が同席のもと、当総会スケジュールおよび議長マニュアルに沿って説明した。
- 会員より議案として受けた文書に対し、第一号議案審議の質疑応答中に本人了解の元に質問として取り上げることにした。

2.大臨技行事スケジュール管理について

（吉本常務理事・山田理事）

- 平成23年度年間予定行事について、当システムへの入力が完了した。
- 当システムへの入力担当者は、原則として、各部の大臨技ニュースへの行事掲載担当者とする。
- 当システムへ入力するためのパスワードは、上記入力担当者および各部部长に発行する。
- 当システム使用に際して誤削除等を防止するため、パスワード発行者間でメーリングリストを作成し、入力データを管理することとした。
- 平成23年度年間予定行事が登録されていない各月の第3土曜日については、2ヵ月を過ぎた場合は、行事入力を可能とした。

3.衛生検査管理専門委員について

堺市から平成23年・24年度衛生検査専門委員の依頼があり、引き続き酒井理事と田畑理事を推薦することで、理事会の承認を得た。

4.日臨技総会について

日臨技平成22年度第2回定期総会が3月26日に開催される。今回は、新法人移行に伴う定款の改正、平成23年度事業方針・予算案等の重要な案件の審議が行われるため、今井会長と運天副会長が出席をすることとなった。総会にて白紙委任状についての取り扱いを明記することを要望する。また、内容が不透明な議案については運天副会長から質問をすることになった。

5.その他

- 大臨技主催の他職種が研修会等の参加費を会員・非会員とも同額とする。
- 平成23年度から行う公益事業経費の一部負担を賛助企業に依頼することが出来ることを、理事会にて承認した。
- 従来の近臨技の運営・あり方については、現在協議中である。
- 定員を設定する大臨技主催行事においては、大臨技の会員を優先して受け付けることとした。
- 日臨技定款変更後、近畿圏以外の会員への対応について理事会で検討して行くこととした。
- 会計部より4月の理事会までに、決算書を提出するようお願いした。